

京橋の印刷

12月10日1992・No.84

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
神林克明



“敬老の集い” 明治神宮本殿前にて

工団連ドリーム

支部長 神林克明

何かと気ぜわしい12月を迎えました。私共執行部もお蔭様で皆様のご理解とご協力によりまして、プリンテック'92東京、中央区産業文化展「へそ展」が成功裡に終了いたしました。支部員皆様の暖かい気遣いを肌で感じる事が出来、感激に浸っております。

さて、来年は支部70周年、工団連30周年に当り周年行事が行われます。

既に皆様に配布の新地場産業おこしを夢見ているポストターに集約いたしております。「工団連ドリーム」は地場産業振興を目的に「コミュニケーション」は地場産業振興を中央区へ提言、その実現を目指して、印刷京橋、日本橋支部、製本京橋支部、軽印刷中央支部が中心となって（中央区地場産業振興21ST小委員会）取組んでおります。

当支部内でも最近の人手不足、後継者難、又都心での作業場の確保難等の理由で、事業の継続の将来を危ぶむ声も起きています。

この難題に対応するためにも地域に根ざした職任一致の施設、高層住宅の併設、知集約化とネットワーク型作業交流等の場を作り、その受皿に統廃合した学校の跡地の有効利用をはかり、一石二鳥の効果が期待出来るコミュニケーション、一石二鳥の効果が期待出来るコミュニケーション。

然しこのドリーム地場産業おこしは組合員皆様のご理解とご協力なくして実現への歩みを進める事が出来ません。是非正夢にたく将来に向けて歩を進めたいと思っております。

第2回中央区産業文化展 ”へそ展“開催

於・日本橋プラザ 10月22日～27日

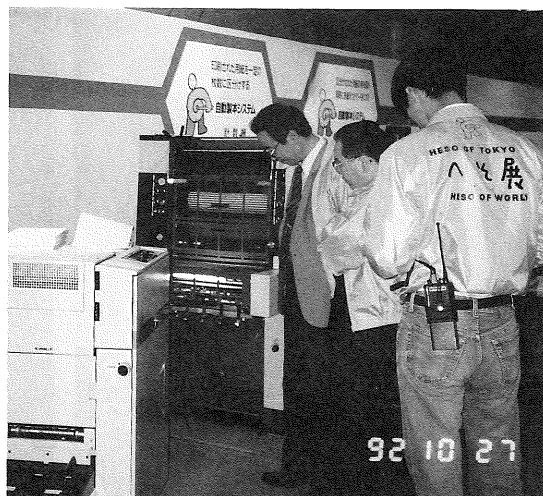
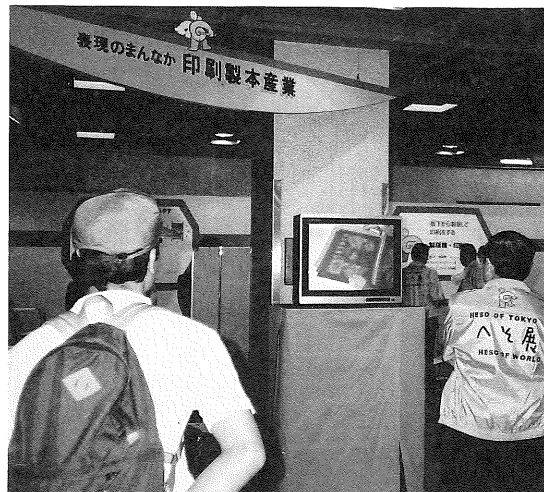
10月22日(木)、丸善裏の日本橋プラザ一階広場と三階催事会場にて、第2回'92年中央区産業文化展が開催されました。隔年に開かれるこの催しは従来の中央区産業文化展を拡大し、産業文化展として、前回から、広告・情報(朝日新聞)産業、印刷・製本産業、繊維・食品産業の他、通信(NTT)や異業種交流(中小企業同友会)、機械及伝統工芸等が一堂に集まったもので、快晴の中、9時30分、日本橋菜会のお囃子や太鼓の賑やかな前奏の後、矢田美英区長、平林智司実行委員長、押田区議会議長らのテープカット。来賓の方々が場内を一巡して、東京のまん中、日本のまん中としての”情報の発達基地“とも言うべき中央区をPR、愛称”へそ展“として一週間に亘って開かれました。

印刷・製本コーナーは、三階の奥に沿って設けられ、最新の原稿入力から製版、印刷、製本に至る工程を最新機器で紹介、カラー画像処理の部分では、マッキントッシュによる画像処理とデジタルカラー複写機が人気を集めました。尚、印刷・製本PRビデオは、カラー製版解説(東印工組)が、判り易い解説で人気を得ていました。製本コーナーでは、和本綴じ、マープ



ル(本の小口装飾)、製本教室等に来場者が参加する姿が目立ちました。京橋支部各地区の役員には連日半日交替で、当番に立って、来場者の小学生、一般見学者へ、絵ハガキ、年賀ハガキ、ポスター等の配布をお手伝い戴きました。神林支部長、荒川副支部長ら実行委員も連日出張して見学者へのサービスに当りました。区内の小学校から15校が見学し、人数は120名になりました。一般入場者数は、6日間で約5万人にのぼりました。印刷関係の出展メーカー及び機種は次のとおりです。

- ・キヤノン販売(株)マッキントッシュ一式、デジタルカラー複写機ビクセルメイースト、デオ一式
- ・ハイデルPMT(株)全方位組版編集システム・アルタミラ
- ・ハマダ印刷機械(株)単色枚葉オフセット印刷機・ベータ52ST一式
- ・単色枚葉オフセット印刷機・トップランナー2一式
- ・(株)ムサシダイレクト製版機ELP330(フジフィルム製)一式。





”敬老の集い“

於・明治神宮



9月9日、重陽の節句というおめでたい日に本部主催”敬老の集い“が、明治神宮、本殿に於て、11時より挙行されました。当日の参加者は長寿者（77才以上）112名で、該当者37名の約1/3の方が出席、参会殿でお祝いを受け、本殿

にて、健康と長寿を祝う祝詞奏上が行われました。塚田理事長と長寿者代表、樺原氏により玉串が捧げられた後、2人の若い巫女により「代々木の舞い」が大太鼓や笛の伴奏で奉納されて、神秘的な儀式は終了、御神酒を拝戴して降殿し、本殿前にて長寿者全員の記念写真が撮影されました。当日は快晴の好天に恵まれて、正面からの写真撮影は強い日光が反射して難かしい位でした。京橋支部からも、94才の瀬戸昇之助氏（株昇寿堂）を筆頭に、91才の白橋龍夫氏（株白橋印刷所）、83才の広瀬徳次氏（朝日印刷株）、78才の安西定治氏（安西一誠堂印刷株）、77才の酒井豊吉氏（酒井印刷所）、同じく石澤幸氏（石沢印刷株）、藤井豊氏（昭和印刷株）の7名の方が元気に出席されて、参列した本部・支部役員の方々から、お祝いの言葉を受けられました。記念撮影後、一同は参集殿に戻り、祝宴となり、平林厚生委員長のお祝いの言葉で開会し、塚田理事長の「いつまでもお元気で楽しい人生を過ごして下さい。」と挨拶の後、中田全印健理事長の祝辞の後、長寿者を代表して、向喜代治氏（北支部・株杏林舎）がお礼の言葉を述べました。芝崎副理事長（厚生委員会担当）の音頭で乾杯して、皆様、寛いで歓談に華がさく内に民謡グループ「若草会」により、賑やかに唄が始まり、「高砂」、「無法松の一生」等、11曲が踊りと共に披露されて、大きな拍手が贈られていました。そして一時半に、山岡副理事長の中締めにより、第26回の敬老の集いが終了しました。

プリンテック'92東京

於・幕張メッセ



東印工組主催の機材・資材展が、初めて千葉・幕張メッセ展示会場にて、9月17日から3日間開催されました。京橋支部も、神林支部長の熱心な動員勧誘のお願いの呼び掛けで、各地区長の尽力の結果、千代田支部の2千名に次いで、1130名の人員が見学に参加して、小山常務理事共々、本部施策に協力致しました。京橋支部だけが支部員各社の自己負担で、これ程の人数が、自発的に見学する事が出来た事は、素晴らしい事だと思われます。湊地区では中央区の優良施設見学会の補助金を受けて、バス2台で110名の方々が見学しました。神林支部長も支部員の皆様の来場感激されていました。（岩本）

地区だより

築地互友会恒例の秋期旅行会

九月二十六～二十七日

今年の旅行会は本州を離れ函館でということになった。私の知る限りでは北海道は初めてである。旅行好きでないと思われは生れないが、神田地区長はその点新しいアイデアを出して来るのでたのしい。

浜松町のモノレール駅で午前八時に待ち合せ。総勢十六人。過去二十人前後だったことを考えると少し淋しい。我が地区は今年になって長老の加藤秀さん（東京開拓社）と地区長のお父さんと相ついで他界されたのは淋しい限りといえよう。定刻通り羽田空港を発ち、定刻どおりに函館空港へ着いた。天気は極めて良好なりしも手違いからか、六人だけが前方のスペースシャルシートに乗る事になり、抽せんの結果私も特別席に座ることになり特別サービスの恩恵を受けることになった。同一金額での差別化だからいささかの不満も出た。

函館空港に着くと早速地元観光会社の出迎えを受ける。ガイドは自ら地元出身と名乗り、函館弁で話す小柄なしかもめんこい子であったのは一同大歓迎。バスの中で大拍手が起った。コースはお決まり乍ら観光コースは、トラピストチヌ修道院―五稜郭―立待岬―元町公会堂。こ

の間清寿司で昼食を摂ることになった。先ずは修道院へ。過去三度函館へ。去年今年と続けて来函したが修道院は初めて。お天気は良かったが台風十五号の影響で黒い雲の固まりが遠方の山に見える。昨年は十九号台風の中を進んだが今年は十五号と互友会員には台風で好かれる人がいるのかも知れない。修道女の生活はガイドしか知ることはできないが、それによると歴史は古く、明治三十一年に函館に創立され今年で九十四年の歴史を誇っている。修道女の生活は戒律が厳しく孤独と沈黙のうちに祈りながら働き、常に神と共に生きる。地上のあらゆる事物から自分を引き離すため閉域が設けられているという。俗世間とは没交渉という訳である。資料館にはその歴史を示す写真や資料が展示されていた。それに目をやり乍ら何気なく左を見るとTVで見馴れた顔があった。よく見ると世界選手権やオリンピックで活躍した、シンクロナイズドスイミングの小谷実可子であった。TVで見るとよりずっと背が低い。いざという時に大きく見えるのはスポーツ選手の特技なのかも知れない。顔付きもヤンチャであった。各々観光みやげを求めバスの人となる。佐々木、鈴木、両氏は地元出身とあって温古の樹の話や方言などを親切に教しえて呉れる。途中すれ違いう市電がなつかしい。全部で四七輛。中には東京都電の払い下げが三輛あるとかで、人口三〇万七千には丁度良い足かも。バスは次の目的地五稜郭に向う。江戸から明治にかけての大変革時にかけての大エネルギーが発散した場所であ

る。洋学者武田斐三郎の設計による平地の城だが、この五角形の地形は私には米国の国防総省ペンタゴンがオーバーラップしてならない。タワーから見た地形と濠と森はまさに歴史の重みを感じる。当時最果ての地といわれながらも北国の守りのために尽力した人々に敬意を表すると共に反面でアイヌ族に対する思いやりが足りなかったのではないという気持が脳裡をかすめた。

昼食は清寿司で摂る。皆腹も、喉も適当に乾いていたので食は進んだ。ビールもうまかったと思う。下戸にとってはイカソーメンが新鮮で一番うまかった。終って再びバスの人となり、立待岬へ向かう。名が何となくロマンチックだが由来は、昔から外国船を監視するのに都合の良い場所として誰いとなし立待岬となったとガイドにある。お天気がよかったので左に下北半島、右に津島半島が手の届きそうな処に見えた。お世辞なのかガイドもお天気が良くて観光日和ですと両半島が見えたことを評価していた。それをバックに記念写真を撮る。夜は夜でイカ釣り舟の漁火が別の味合を見せて呉れるようだ。一同散策のあと石川啄木一族の墓を右にしながら、旧函館区公会堂へ向う。途中八幡宮、護国神社を通りバスはロープウェイのりばで待機させて歩く。天主公会堂と見学しながら公会堂へ。建物は木造だが明治の匂いの残る当時としては相当ハイカラな建物だったろう。中へ入るといろいろと仕切られた部屋があり、その中には当時のトイレ、風呂場、着替え室などがあり二階

は大ホールで千円で貸して呉れるイブニングドレスを着た女性二人が目飛び込んだ。一瞬タイムスリップして明治に戻ったのではないかと目を疑った。このホールは床が磨がかれ二百坪近い面積は当時の人々にとってはかなりショックを与えたのではないかと思う。ある面では西



洋カブレの原点かも?。この辺り一帯は実に閑静なところであるが、神社、仏閣、教会、学校が並び散策にもって来いの場所であるが観光地化しつつあるので将来はどうなのか一寸気になった。場所は山の中腹にあり湾を見渡せる眺望の位置だ。ニチロと函館ドックの企業城下町として栄えてきた函館は今やその面影もない。バスに戻り一息のあと、外人墓地に向う。途中函館でもっとも歴史のある元町小学校が近くとりこわされる運命にあるというそばを通り墓地へ。湾に面した小高い場所に十字架の墓が並んでいた。安政元年ペリー艦隊が来た時二人の水兵が病死、ここに葬られたあと外人の死亡者は全てここに埋葬されているという。続いて高竜寺に向う。函館で一番古い寺で山門は総ケヤキで見事な彫刻で仕上げられている。寛永十年創始で重要文化財に指定されている。

少し時間があまったので今夜の楽しみ百万ドルの夜景を見るため函館山の場所取りに行く。しばし夜のとばりがおりののを待つ。お天気は雨が降ったりで定まらず。夜景見学のためのバスが後から後から引きも切らずに登ってくる。見る間に駐車場は一杯になる。夜もトツブリと暮れたので思い思いに展望台に登る。立錫の余地もない。一望千里とは行かないまでもホンコンの夜景より立派だ。あのネオンは何処であるの通りは何通りなどと夜景の中で探すのも一興なり。昔百万ドルといわれたが今の価値は何千ドルに相当するかという話もあり、日本でも一、二を競う夜景には違いない。

今夜の宿である「啄木亭」に着く。新しいホテルだがよく「啄木」という名称が残っていたと思う。十一階の風呂に入り、旅の疲れを癒すには非常にゆつたりとした広い風呂場だ。人的サービスは良い。夕食は四人の若いユニホーム姿のコンパニオンが見えた。昔この湯の町にも若者は多かったのだろうが今はその面影もない、時代なのだろう。しかし、とまどうのはどっちがお客かわからなくなることだ。我々が彼女等にサービスしないといけないような錯覚におそわれる。これも時代なのか。ダジャレとカラオケと二次会に誘うの三つしか能がないようだ。カラオケは当然北島三郎の「函館の女」である。疲れたのか、コンパニオンに魅力がないのか二次会の気配なし。建物が一流、対人サービスもまあまあなのに料理はうまくない。東京近辺だったらとくに消えているだろう。

翌日は朝食後九時にホテルを出発。函館駅近くの朝市に向う。うまそうな毛ガニ、イクラ、タラバ、タラ子などが並ぶ。威勢の良い売り子の声に乗せられて何人かが買わされたようだ。このあと金森倉庫を見学する。函館が全盛時代に活躍した名残りである。オルゴール売り場などを回り孫のみやげに各々買っていったようだ。昼食は大沼公園で鍋物を摂る。うまい物を喰った後は遊覧船で沼を一周。風が爽やかで気持ちが良い。波静かな遊覧を終え空港へ向う。皆思い思いの気持を残し空港を後にする。定刻どおり羽田に着き無事解散となった。(近藤記)

墓 参

'82 TIR グループ

故児玉正己さんが京橋支部の支部長を勤められていた時代の執行部のメンバーが、任期終了後児玉さんを中心にして'82 TIR グループを組織して、四季折々に情報交換や親睦を目的として交流を深め続けて十年になります。



昨年はメンバーの中心であった児玉さんを失い恒例の忘年会が児玉さんの追悼会になってしまいました。その席上誰からともなく児玉さんの一周忌にはお墓参りに伺がおうということになりました。

そして今年、間もなく一周忌を迎えようという十月三日朝、吾々'82 TIR グループ一行九名は上野を発ち長野経由で湯田中駅に降り立ちました。駅には児玉さんの奥様市子さんが出迎えて下さり、奥様のご案内で児玉さんが眠る墓地に向いました。

お墓は、山間の前方が広く開け遙か山裾を見渡せる所にあり、皆で児玉さんの好物であったビールを手向けて冥福を祈りました。

「泰山は土壌を譲らず、河海は細流を選ばず」吾々'82 TIR グループの中にあつて、大らかな好人物の児玉さんは皆に慕われる中心的存在でした。墓前で菩提を弔い乍ら一年前の九月八日のことを思い起しておりました。

病室では石沢・榎本・小倉・久保田・白橋の皆さん方が、かわるがわる児玉さんの手を握り一日も早く退院できるようにと元気づけておられました。握手しているあの磊落な児玉さんの目に大粒の涙が浮んだのが忘れられません。

涙の中にどの様な思いがあつたのか知る由もありませんが、忘年の交りをさせていただいただけに墓前で病室での光景を思い出し感無量の一時を過しました。

翌十月三日、故児玉さんの実兄、児玉環さんのご案内で、環さんが館長をなさっている志賀



山文庫を訪れました。東京にあつた渋沢信雄氏（渋沢栄一氏の孫）の邸宅を移築し、志賀の山々を愛した文人、詩人、画家などの作品、資料約二万点を収蔵し、その一部を順次展示公開しているそうです。私達が訪れたときは竹久夢二の作品・版木を中心に展示されており、環さんに丁寧な説明をいただきました。

文庫の見学を終えて、又々環さんのご案内で志賀高原の東館山にリフトを利用して登りまし

た。途中錦秋という言葉にふさわしい秋の志賀の山の美しさに酔い、山頂では晴天に恵まれて北アルプスを初め中央・南など三百六十度に展開する素晴らしい景観を楽しみました。

又、長野冬期オリンピックの準備の仕事にも関係なさっている環さんに、その計画などのお話を伺ったり、予定されている女子スラロームのスタート地点に立ち六年後長野で開催される冬期オリンピックに想いをさせました。

かくして吾々グループは、かつて児玉さんが折にふれ話された志賀の山と美しい紅葉を児玉さんの想い出と共に心に刻みながら帰路につきました。(土井記)

尚、TIR(テクニカル・インフイメーション・リサーチ)グループは、今後も土井さんを中心に活動を続けて旧交をあためていく事になりました。(岩本)

支部役員幹事会開催

於・銀座キャピタル

11月6日(金)、18時より築地の銀座キャピタルホテル2階にて、京橋支部の各地区の幹事を含めた拡大役員会である幹事会が、開催されました。まず荒川副支部長の司会で、神林支部長が挨拶をして、「9月幕張メッセ、プリンテック'92への参加動員数が、京橋支部が、第2番目に多い130名にも達して、皆様のご協力に感謝致

しております。又、日本橋プラザにて開催した、中央区産業文化展(へそ展)には、各地区の幹さんの出張当番をお願いして、大変有難く存じました。お陰様で地場産業である印刷業をPRする事が出来まして感謝しております。来年の秋には京橋支部70周年を記念して、行事を予定しております。2月5日には、支部新年臨時総会を伊豆山・水葉亭にて開催致します。皆様のご出席をお願い申し上げます。」と述べました。続いて本部の小山常務理事が挨拶されて、「支部幹事の皆様方にはいつも御苦労様です。本部事業にいつもご協力戴き、感謝しております。今、業界は、大手の談合問題で、社会的な批判を受けておりますが、これで中小も、同じ目で見られるのではないかと危惧しております。今日も積算資料の価格についての会議を行ってましたが、今後共にご支援をお願いします。将来、皆様が本部に出て戴けるよう願っています。」と述べられた。続いて乾杯の音頭役に、支部監査の坂田氏が指名されて、勢いよく乾杯して、歓談へと移りました。続いて、各地区の幹事が紹介されて、各地区別にカラオケ代表が喉自慢を行ないまして懇親を深めました。

京青会だより

京青会では11月14日(土)、中央区の補助によりバス見学会を企画して、13名の会員が印刷会館を9時に出発、佐倉にある川村美術館を見学、そして千葉市にある千葉印刷団地にある金山印

刷機工場を見学して、帰路、船橋市にあるサッポロビール船橋工場を見学、無料ビールの試飲を楽しみました。

支部の動き

7月1日(水)中央区産業文化展実行委員会、於・中央区役所(10時30分~12時)、神林支部長、荒川副支部長他出席

7月3日(金)部長・監査・地区長会、於・箱根湯本温泉・天成園、会費2万円

1、支部長会報告事項

- ・プリンテック動員計画について
組合員関係動員目標1日1万人、3日間
- ・東京地区協の開催、7/23、ポスト構改に向けて、「2000年計画」竹原常務、技術協会
- ・各委員会所管事業より

- ・小規模企画情報紙の発行、1~19人規模事業所を対象にファクシミリ送付
- ・構改事業推進、冊子「管理用ソフトの利用研究」(小企業向け)の活用
- ・共助制度に於る供花料改訂、現行一万円を一万参千円に改訂
- ・環境問題調査、「工場のごみ処理」アンケート(日印産連委託)7月上旬
- ・凸版機の稼働(利用)状況把握の件
- ・コンクール事業(全印工連)の協力

2、当面する支部事業について

。新年臨時総会々場下見の件

。来年秋の70周年記念事業検討について

。その他

7月8日(水)臨時部長会、於・支部室(13時〜15時)、神林支部長他出席

1、総会々場下見結果、来年は人数も多くするので、伊豆山・水葉亭に変更

。'92プリンテックへのパス借上を検討

。支部報「京橋の印刷」の早期発行、来年には合本も2〜3冊作る

。その他

7月15日(水)中央区産業文化展印刷製本部会、

於・支部室、(12〜14時)、日本橋、京橋支部、東軽工中央支部、製本京橋・日本橋支部各実行委員が出席

7月16日(木)本部理事会、於・新川健保会館、神林支部長他支部理事出席

7月26日(日)中央区商工業ソフトボール大会、於・月島グラウンド、京青会チーム出場

7月27日(月)京橋電気安全協会理事会、於・京橋消防署、岩本書記代理出席

8月21日(金)中央区産業文化展実行委員会、於・中央区役所(10時30分〜12時30分)

神林支部長他実行委員出席

9月3日(木)本部支部長会、於・銀座キャピタルホテル、神林支部長出席

9月8日(水)部長・監査・地区長会、於・支部室

1、支部長会報告事項

。プリンテック動員・参加について、9

月17日18日19日のスケジュールについて、動員体制と動員協賛金(各支部へ)、技術セミナーの申込状況について

。事業者台帳調査について、今後は2年に一回提出、パソコン入力、変更分のみ届けにより訂正

尚、構造改善実績調査は毎年実施

2、当面する支部事業について

。中央区産業文化展の開催について、

10月22日〜27日、於・日本橋プラザ、各地区幹事にて出張当番半日)

。支部名簿の発行について、10月頃

。支部幹事会の開催、11/6、18時、於・銀座キャピタルホテル、会費5千円

。中央区工団連30周年・区商連40周年の記念式典行事5年2月9日(火)中央会館

。京橋支部創立70周年記念事業(来秋)

委員会委員の選任―部長、監査、地区長

3、その他

。東京都印刷産業政治連盟主催、都議選推薦候補者激励会、11/11(水)、17時京

王プラザ、会費1万3千円、券100枚割当

。顧問・相談役・参与の会、12月4日(金)躍金楼、会費1万5千円

4、委員会報告、その他

9月9日(水)本部主催「敬老の集い」於・明治神

宮、本殿・参集殿(10時30分〜13時30分)

神林支部長、長寿者他出席(本文参照)

9月17日(木)'92プリンテック、於・幕張メッセ

9月18日(金)

9月19日(土)

3日間、10時〜17時、技術セミナー併催

9月21日(月)中央区産業文化展実行委員会、於・中央区役所(15時〜17時)、実行委員出席

10月2日(金)中央区産業文化展印刷製本部会、

於・支部室(13時30分〜15時30分)

10月8日(木)本部支部長会、於・印刷会館4階、

神林支部長出席

10月9日(金)「都政を考える会」設置準備会、

於・新宿駅ビル・松澄(17時30分〜19時)、

神林支部長出席

10月12日(月)中央区産業文化展実行委員会、於・

中央区役所、実行委員出席

10月14日(水)部長・監査・地区長会、於・支部室

(11時〜14時)

1、支部長会報告の事項

。プリンテック'92東京、結果と反省、

参加者数―9/7約1.5万、9/18約1.8

万、9/19約3.8万、合計約7万人の入

場

反省点―事前周知方法(配付物)、開

会式、受付、控室、機材展、セミナー

等、

。事業者台帳調査と構造改善調査の実施

発送日9/28、11/未迄回収、本部直

送

。新春の集い開催について、日時15年
 1月13日(水)、17時30分、場所・椿山荘
 「瑞雲の間」、会費組合員1万3千円、
 青年会1万円、12月10日迄申込
 2、当面する支部事業について、
 新年臨時総会、2月5日(金)会費2万3
 千円、関連業者3万円
 3、その他、(株)三田村印刷所、放火見舞御
 礼に社長来室、役員の皆様にお礼の言
 葉を述べられた。

10月17日(木)本部「永年勤続従業員表彰式」開催
 於・新橋演舞場、(9時30分～11時)、宮入
 副支部長代理出席、京橋支部16名表彰
 10月22日(水)～27日(火)中央区産業文化展開催、於
 ・日本橋プラザ1階、3階(10時～18
 時)支部各地区役員にて交替当番(本
 文参照)

10月28日(水)臨時部長会、於・支部室
 ・新年臨時総会々場について打合せ
 ・コニカ(株)小田原工場見学と新年総会々
 場下見を兼ねて、12月16日(水)に行う

10月29日(木)京橋電気安全協合理事会、於・京橋
 消防署(11時30分～12時30分)岩本書記代
 理出席

11月5日(木)本部支部長会、於・印刷会館4階
 (15時～17時) 神林支部長出席

11月6日(金)京橋支部幹事会、於・銀座キャピタ
 ルホテル2階、(18時～20時)会費5千円
 支部役員41名出席、司会、荒川副支部会、
 挨拶、神林支部長

来賓挨拶、東印工組常務理事、小山英美殿
 各地区役員紹介
 乾杯、京橋支部監査、坂田利正殿
 中締 京橋支部監査、金山耕二殿
 11月10日(月)中央区工団連地場産業振興21ST部会
 於・支部室(17時～19時30分)、役員選任
 11月11日(水)部長・監査・地区長会、於・支部室
 (11時～14時)
 1、支部長会報告事項
 ・新春のつどい開催について、12月10日迄
 申込、京橋支部56枚割当
 ・事業者台帳と構成改善調査票の回収状況
 ・京橋支部それぞれ29%と19%。
 来年度から第4次構成となる予定。
 下期事業について
 ・構成―管理用ソフト研修会開催11/20
 ・経営改善関係―取引条件改善の取組み
 ・小規模関係―小規模企画情報紙発行
 ・DTPの活用、19人規模以下へFAX送信
 ・教育関係―各種研修会の開催
 ・資材―インキ・PS版価格調査集計
 ・構造高度化―「東京都に於る印刷業の
 振興ビジョン」の作成配布、来年度ス
 タート、都より2千万補助金が出る
 ・労務―総会賃金調査集計、労働安全衛
 生講習会の開催11/14、34名参加
 ・環境保全、ごみアンケートの集計検討
 ・コンクール事業への応募締切11/末、
 社内報、チラシ・DM各部門、大変少
 い

・支部提案事項
 ・事業者台帳について
 ・西友・年賀状問題について
 2、当面する支部事業について
 ・支部名簿発行について、11月中旬
 ・新年臨時総会次第について
 ・コニカ(株)小田原工場見学、新年総会会
 場の下見について、11/16、役員有志
 ・前期役員への記念品代について
 ・顧問・相談役・参与の会、12/4
 ・「京橋の印刷」12月10日発行予定

3、委員会報告、その他
 11月11日(水)東政連「明日の印刷産業と都政を考
 える会」、於・京王プラザホテル(17時～
 19時30分)、神林支部長他出席
 11月17日(火)中央区工団連正副会長会、於・中央
 区役所、(10時30分～12時30分)
 神林支部長他出席、30周年事業について
 11月19日(木)本部理事会、於・印刷保健会館
 (14時～16時)各理事出席、終了後、(16
 時～17時)、「印刷産業振興ビジョン」説明
 会
 11月25日(水)中央区産業文化展反省会、於・築地
 スエヒロ、(18時～19時30分)、神林支部長
 他実行委員出席

支部員の異動
 所在地の変更
 ・(資)協進社印刷所は、横浜市緑区花田北2-7
 -47、電話045-911-7821へ移転しました。

・(株)アイセルは、湊 1-7-3、の新社屋へ移転しました。

・(有)明興社印刷所は、江東区森下 5-15-7、電話 5600-8321、FAX 5600-8561 に移転しました。

・(有)幸文堂印刷所は、墨田区菊川 3-18-10、電話 3635-6121、FAX 3635-6135 へ移転しました。

・(株)ユー・エダは、中央区新川 1-22-12-502 電話 3206-5303、FAX 3206-5300

・渡辺印刷(株)は、江東区牡丹 1-6-7、電話 3642-9711、FAX 3642-9715 へ移転しました。

・昌平堂印刷(株)は、江東区冬木 5-15、電話 5245-4711、FAX 5245-4710 へ移転しました。

お悔み申し上げます

▼八丁堀地区、朝川印刷工業(株)社長、朝川賞郎殿が逝去されました。(8月)

▼入船地区、(株)小葉印刷所、社長ご母堂、小葉トク殿が逝去されました。(8月)

▼湊地区、文行堂印刷(株)社長ご母堂、斎藤光子殿が逝去されました。(8月)

▼湊地区、日昇印刷(株)社長ご母堂、関根とよ殿が逝去されました。

▼新川地区、(株)エーピーアイ会長、田中廉造殿が逝去されました。(11月)

▼新富地区、相川印刷(株)会長、相川貞義殿が逝去されました。(11月)

▼湊地区、(株)蓬萊屋印刷所会長令夫人、森山佳代殿が逝去されました。(11月)

▼八丁堀地区、(有)和田印刷所社長令夫人、和田てい殿が逝去されました。(11月)

支部名簿の氏名誤字のお詫び

お配りしました支部名簿の 23 頁、オカムラ印刷(株)、岡村忠雄氏の名前が岡林と間違っていました。又同社 FAX 番号も 353 が正しい局番です。同じく 34 頁の(株)坂根商店、坂根慶彦氏の名前が、板と間違っていて記載されました。同じく 30 頁の(株)蓬萊屋印刷所の所在地が湊 3-6-10 となっていますが入船 3-6-10 が正しい所在地です。お手数ですが訂正下さるようお願い申し上げます。謹んでお詫び申し上げます。尚、電話番号や FAX 番号の間違いがまだあるかも知れませんが、気付かれましたらお知らせ下さるようお願い申し上げます。

編集後記

神林執行部が発足して約半年が過ぎました。この間、本部の敬老の集い、'92 プリンテック、永年勤続表彰等が続き、支部長会、理事会もあり、その他支部役員会もあって、神林支部長も東奔西走の毎日です。今年中央工業産業文化展が 10 月に開催されましたので、その準備で半年追われましたが、何とか無事閉幕して、ほっとしている所です。平成 4 年は、不景気の内に暮れようとしています。63 年前の昭和 4 年も金融恐慌前の不況で暗い年でしたが、経済発展後の現在とは比べるべくもありませんがこれから我が国の経済は、人口の減少と共に、低成長が続く事でしょう。輸出が伸びない限り、生産の

伸びも期待出来ず、高い在庫率も一般家庭に物があふれている現状では仲々解消しないでしょう。都心ではオフィスビルの空室が目立ち始め、生産拠点の海外移転も加わって、企業もリストラクチャリング(再構築)が避けて通れない時代となってきました。これからの時代は印刷業界も一段と厳しさが増す事でしょう。折からの一連の佐川問題による不祥事で、政界の揺らぎは収まりそうにありません。わが印刷業界も、大手メーカーのシール談合問題で、連日のように新聞紙上を賑わしているようです。それでも不景気な業界に一段と、しわ寄せが来るのではないのでしょうか。今月は新富・築地区の原稿担当でしたが、新富地区の原稿が間に合わずに、築地区だけの地区だよりとなりました。来年は京橋支部の 70 周年記念行事が 9 月に行われるほか、2 月には中央区工団連 30 周年・商団連 40 周年記念事業が行われる予定です。「京橋の印刷」も 5 年は盛り沢山な記事をお届けする事が出来るでしょう。皆様からのご投稿をお待ち申し上げます。(岩本)

